

# 十勝岳

## 1 概況

27 日に継続時間約 20 分の小さな火山性微動が観測されました(微動の観測は今年 2 月 25 日以来)。62-2 火口では活発な噴煙活動が続いていますが、この微動の前後で表面現象に変化はありませんでした。

## 2 噴煙活動の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いており、噴煙高度は概ね火口上 200m 前後で推移しました。

## 3 地震活動の状況

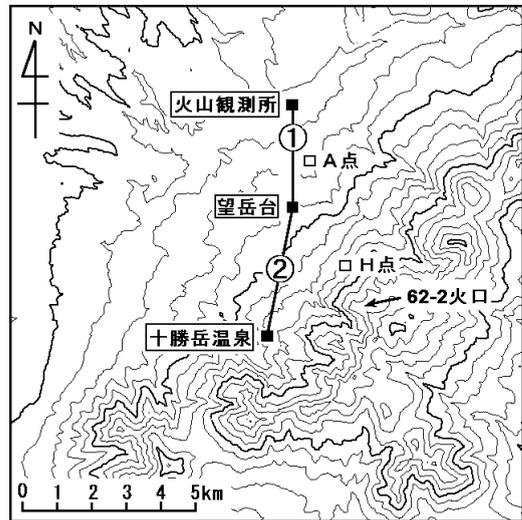
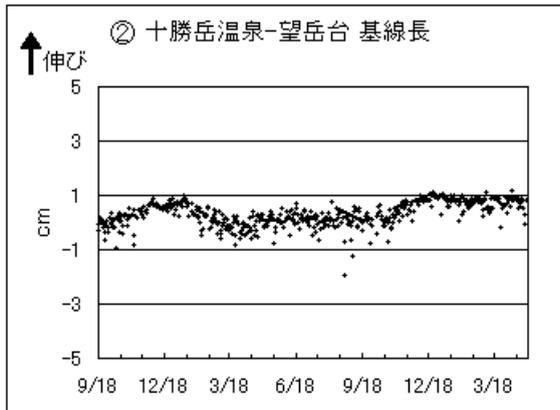
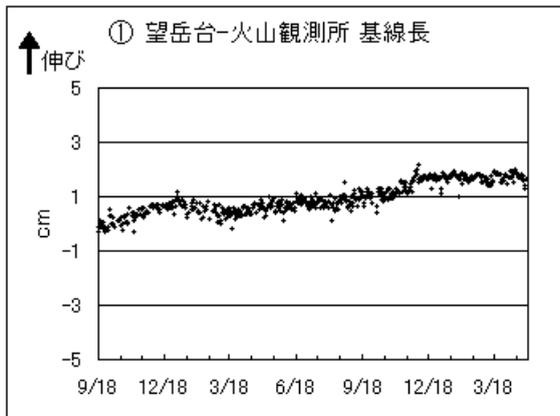
27 日 22 時 37 分頃から継続時間約 20 分間の微動が観測されました(最大振幅は H 点で 0.1  $\mu\text{m}$ )。振幅と継続時間で見ると、今回の微動は 2 月 25 日とほぼ同じ規模でした。なお、目立った地震の増加はありませんでした。

月別地震・微動回数

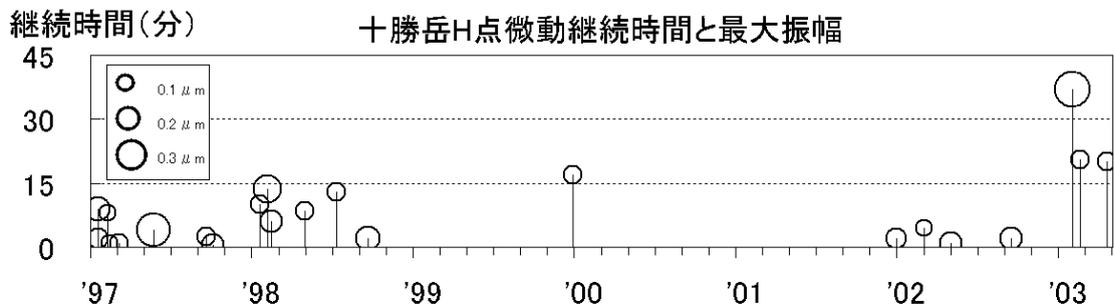
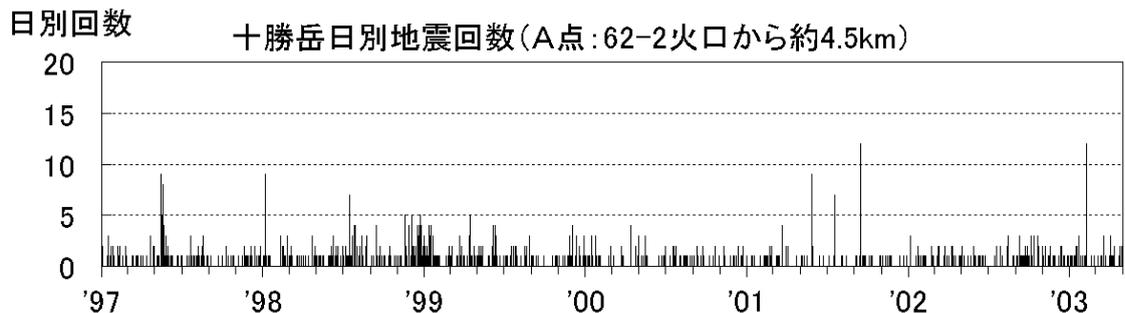
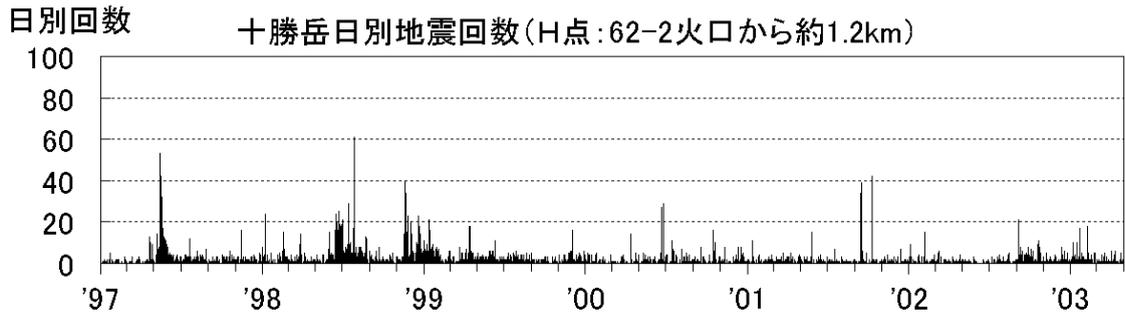
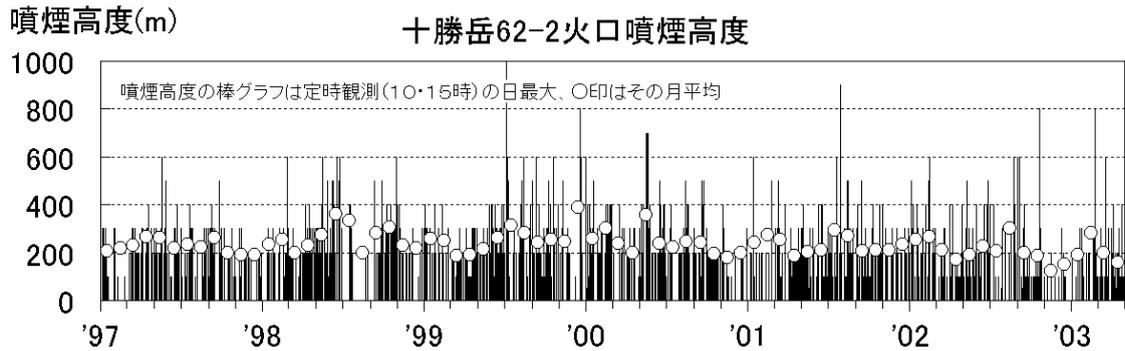
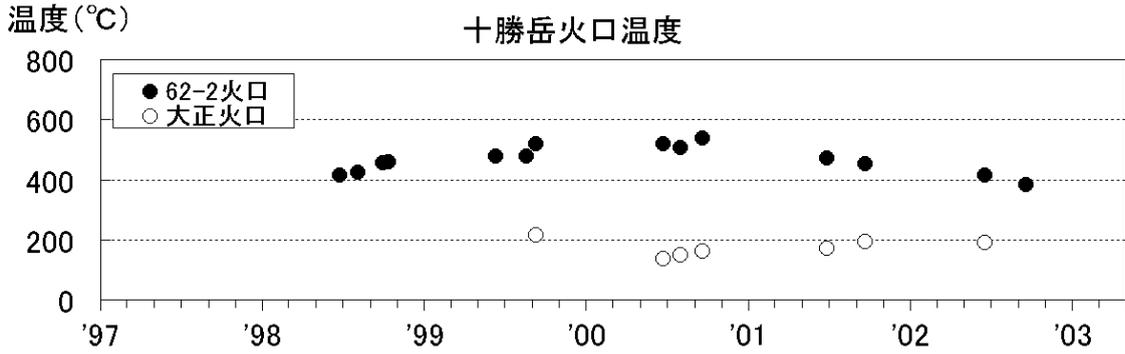
2002～2003年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
地震回数H点	28	14	28	28	113	96	47	54	93	58	39	44
地震回数A点	10	4	5	11	21	13	15	11	15	16	9	18
微動回数H点	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1

## 4 地殻変動の状況

G P S 観測で見られる基線長の変化は主に季節変動が原因と推定され、火山活動に起因すると考えられる変化はありません。



十勝岳基線長変化(2001年9月18日～2003年4月30日)



十勝岳火山活動経過図(日別、1997年1月1日~2003年4月30日)